

個人投資家の皆様へ

会社説明会

2013年1月26日

証券コード 3023



ラサ商事株式会社

<http://www.rasaco.co.jp/>

【目次】

第1部	当社の概要	P2～P7
第2部	当社の強み	P8～P13
第3部	事業の特徴	P14～P25
第4部	今後の戦略	P26～P33
第5部	業績見通し、配当等 株主優待	P34～P40
第6部	関連用語集	P41～P45



第1部：当社の概要

社名の由来

ラサ商事株式会社

- 沖縄県に属する「沖大東島」の通称「**ラサ島**」に由来
- このラサ島でリン鉱石を採掘したのが、ラサ工業(株)



当社設立(1939年)~

【設立当初】

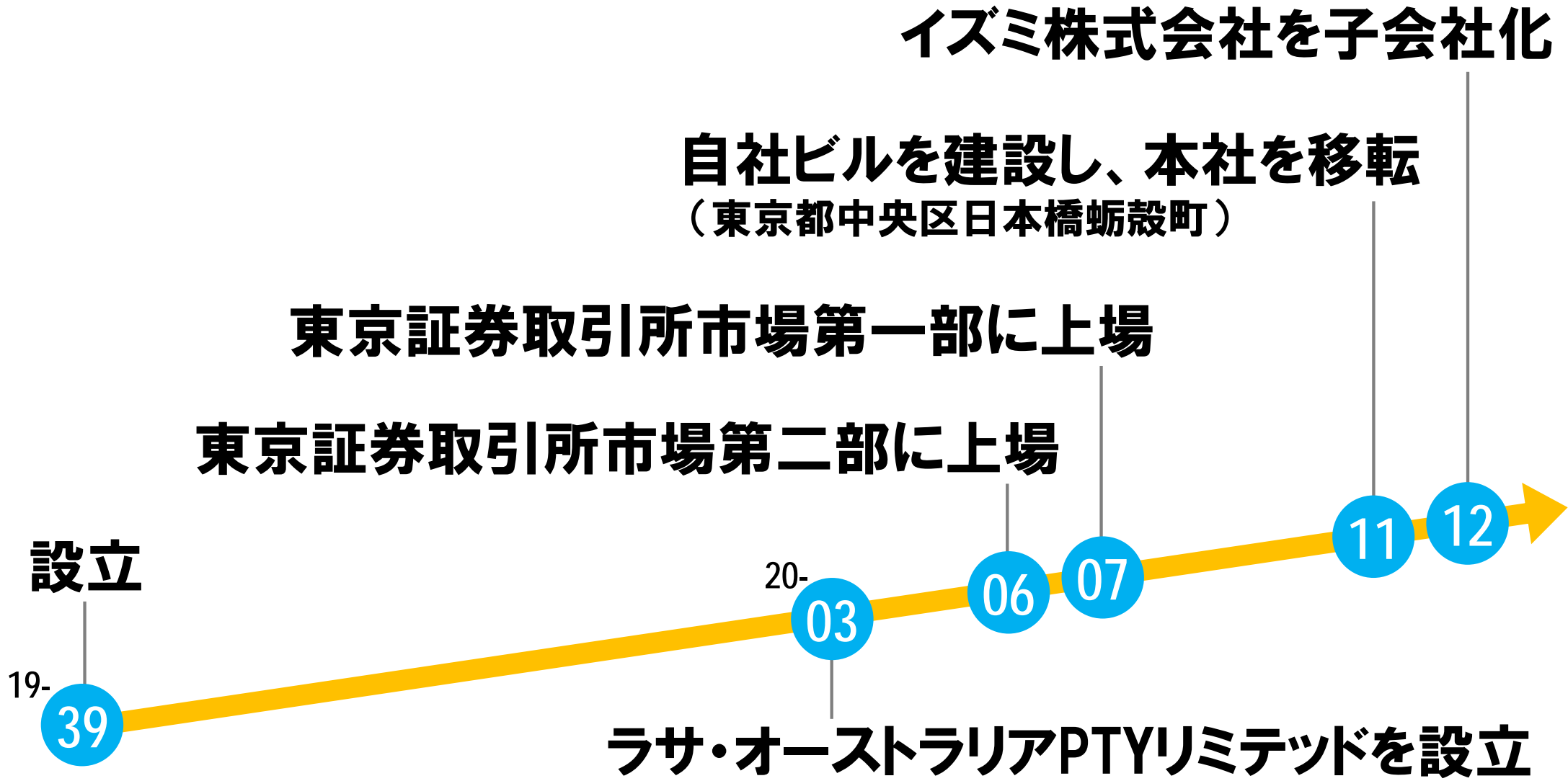
- ラサ工業(株) (東証1部、証券コード4022) の営業部門を分離独立して設立

【現在】

- 現在は**独立系商社**として発展
- ラサ工業(株)とは、建設機械等において良好な取引関係を継続



ラサ商事の直近10年間の動向



業績の推移（単体）

■ 売上高

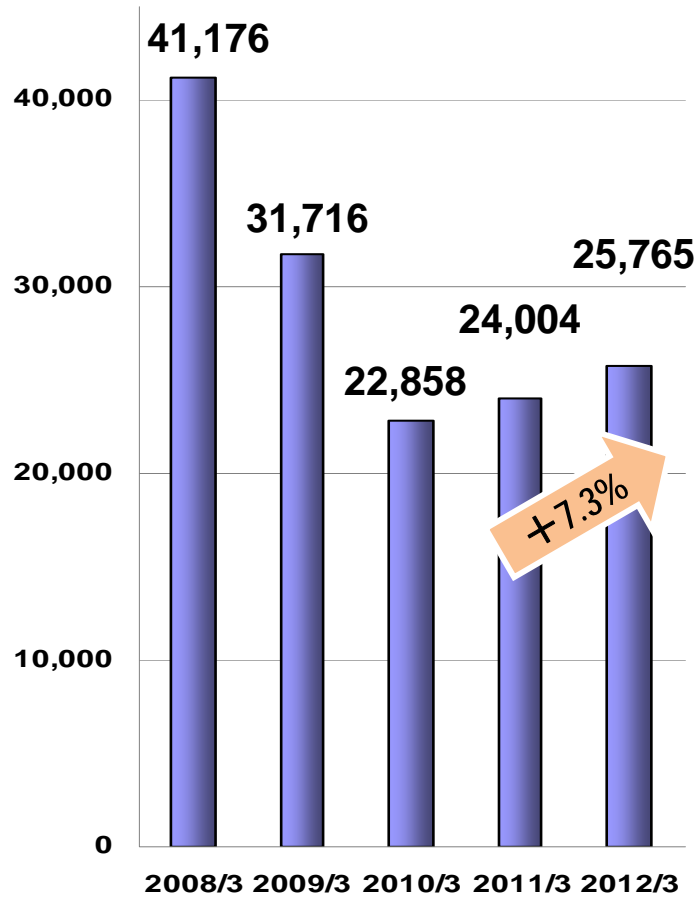
■ 経常利益

■ 当期純利益

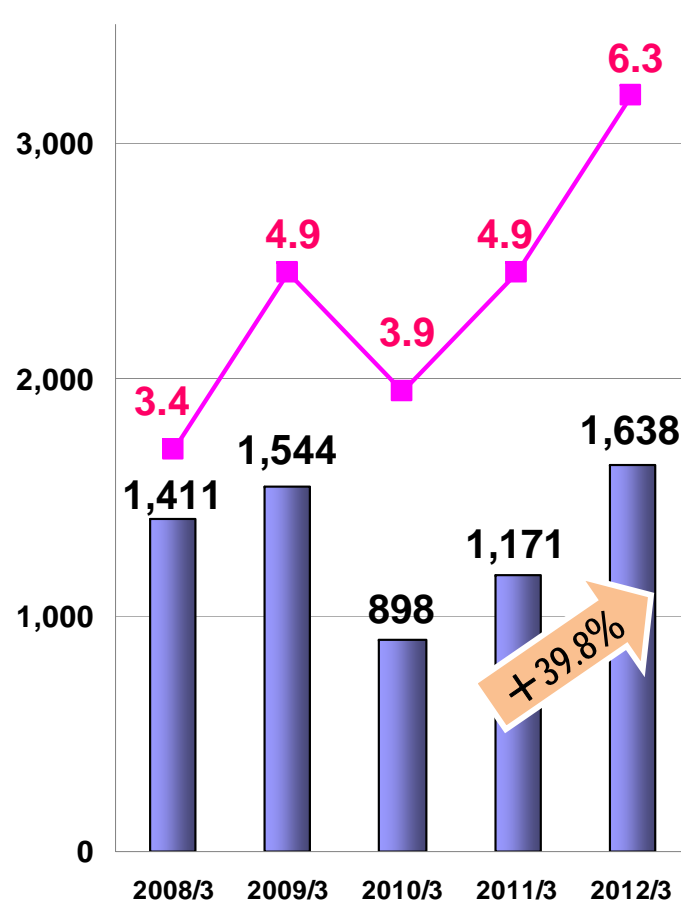
■ 経常利益率

■ 当期純利益率

(百万円)

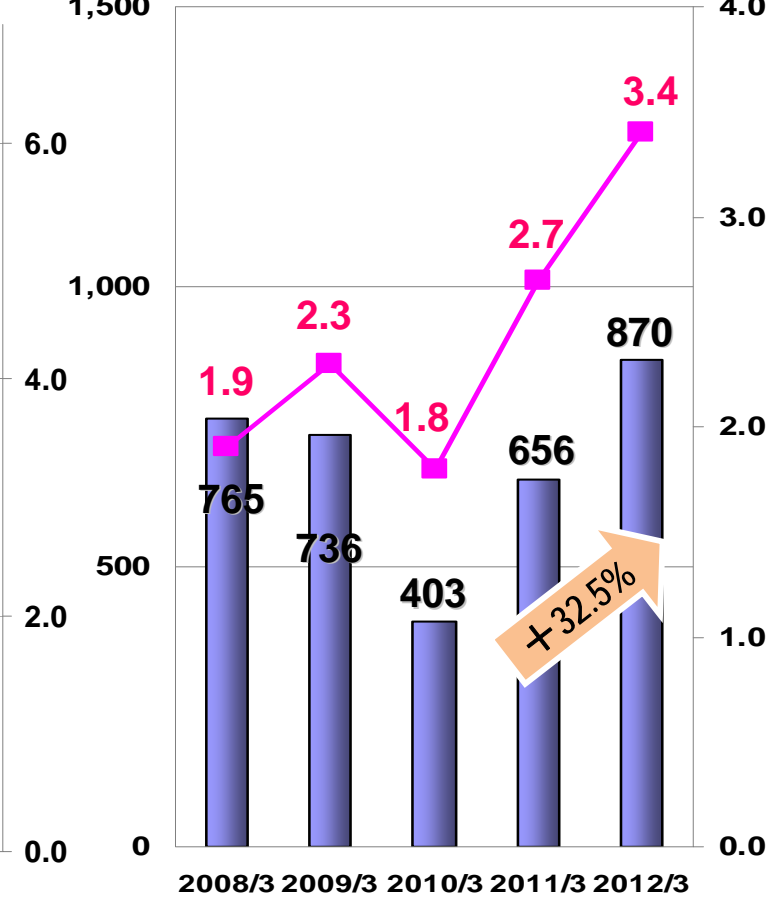


(百万円)



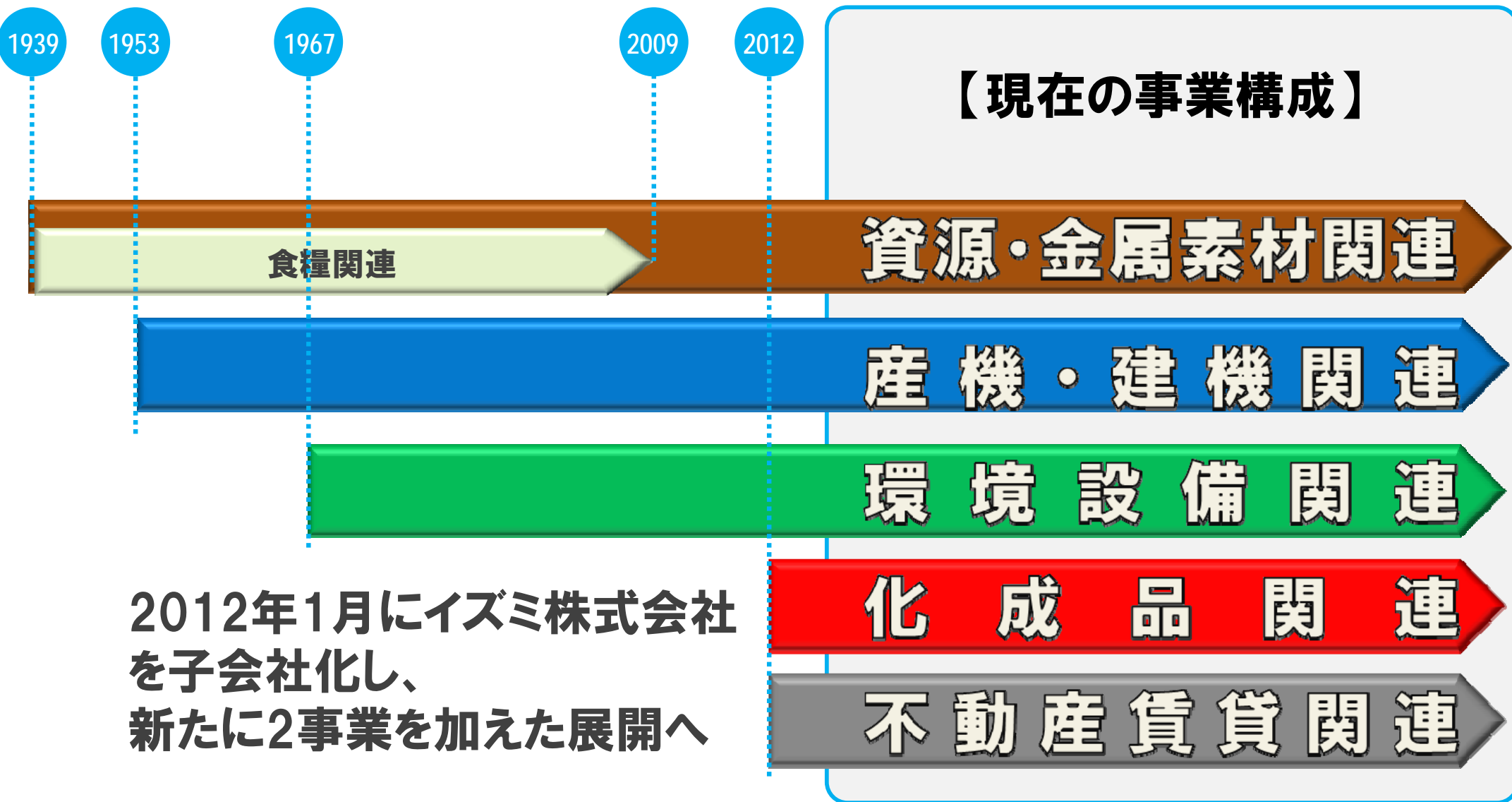
(%)

(百万円)



(%)

事業の変遷 ①事業拡大の推移



事業の変遷 ②2012年の事業拡大

【2011年度までの成長戦略】

既存3事業の
更なる成長

資源・金属素材関連

産機・建機関連

環境設備関連



M&A活用も視野に入れた
新たな収益基盤の創造

【新たに2事業が加わった経緯】

化成品関連

●イズミ(株)の子会社化(2012年1月)



「ラサ商事グループ」
連結グループ経営スタート

不動産賃貸関連

- 本社屋竣工、一部賃貸開始(2011年10月)
- イズミ(株)も賃貸不動産を数ヶ所保有



グループ保有不動産の有効活用を
効率的に行うための事業部門を新設



第2部：当社の強み

当社グループの強み

- 1 ニッチ市場における“トップシェア”を構築
- 2 「商社の枠組み」を超えた機能・ノウハウ
- 3 財務の高い健全性を確保

強み① ニッチ市場における“トップシェア”を構築

資源・金属素材関連

ジルコンサンド

産機・建機関連

ワーマンポンプ

環境設備関連

水砕スラグ
製造設備

各事業に「トップシェア(業界No.1~2)の商品」を保有し、
それを基礎とした商品・サービスの拡充を展開

収益の安定性

強み② 「商社の枠組み」を超えた機能・ノウハウ 1/2

資源・金属素材関連

産機・建機関連

環境設備関連

提案型営業力

- ・新素材の用途開発を提案
- ・多品種小ロットの商材

専門商社機能

技術ソリューション
提供力&
保守・メンテナンス

機械メーカー機能

環境
エンジニアリング

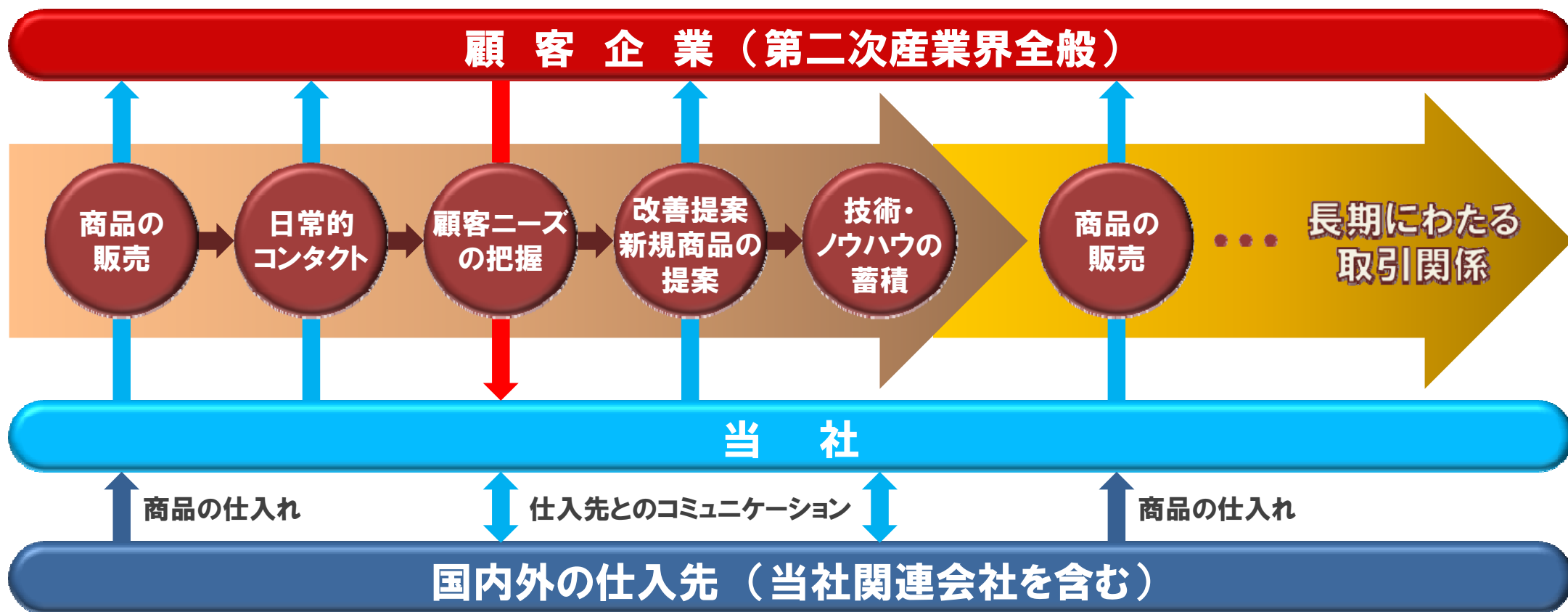
プラントメーカー機能

高い安定成長基盤

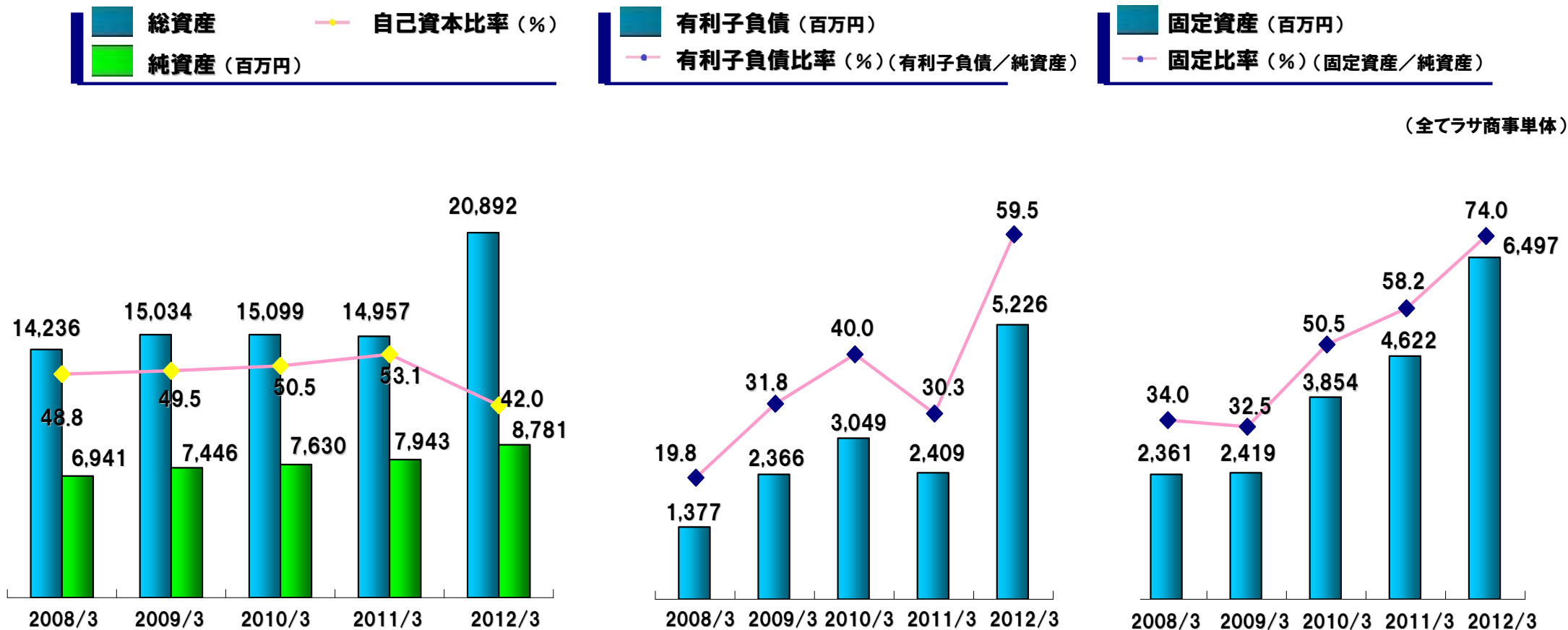
強み② 「商社の枠組み」を超えた機能・ノウハウ 2/2

提案型営業力

“非”汎用品を中心とした商品展開による提案型の営業活動



強み③ 財務の高い健全性を確保



将来の成長に向けた設備投資やM&Aなどを
適時的確に実施していくことができる盤石の財務基盤



第3部：事業の特徴

1. 資源・金属素材関連事業の特徴

① ジルコンサンド 国内No.1サプライヤー



▲鉱山(オーストラリア)



▲結晶(拡大写真)

- ジルコンサンドの産地は世界的に限定的
→生産量世界第1位のアイルカ社(オーストラリア)との間で、国内における総販売代理店契約
- 国内販売シェア50%超



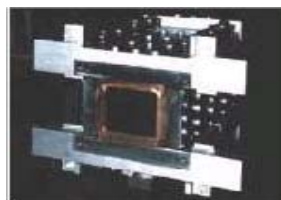
セラミックの釉薬



耐火材



研磨材料



鑄造用鑄型



PDP



風力発電

1. 資源・金属素材関連事業の特徴

2 年間売上10億円規模の新商材が順調に育成

2008年～

10億円新商材
育成プロジェクト

を展開

金属シリコン

2009年度

4.5億円

2010年度

9.8億円

2011年度

12億円

- 太陽光発電向けの開拓を強化
→2012年度は15億円規模へ

輸入原料

(アルミナ系原料・黒鉛など)

2009年度

4.7億円

2010年度

9.0億円

2011年度

12.1億円

- スマートフォン、タブレットPC等の
ガラス原料に不可欠な材料

2. 産機・建機関連事業の特徴

① 国内シェアNo.1を争う「スラリーポンプ」分野を構築

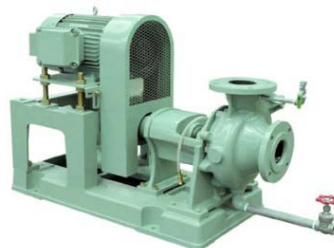
* スラリーポンプ: 固形物が混ざった液体を送ることができる高耐性の特殊ポンプ



ワーマンポンプ
(シリーズA)



ワーマンポンプ
(GSLシリーズ)



ヒドロスタルポンプ



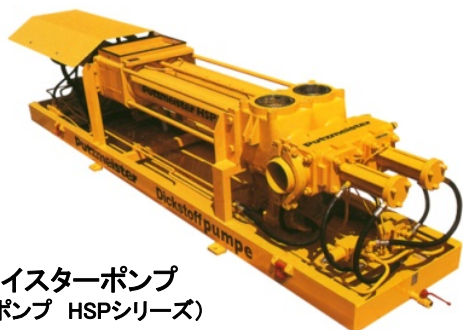
NSポンプ
(FL型)



フェルバポンプ
(Wホースダイヤモンドピストンポンプ)



フォーゲルサン
ロータリーポンプ



プッツマイスターポンプ
(ピストンポンプ HSPシリーズ)



タカサゴポンプ
(VMK型 多段渦巻ポンプ)



URACA高圧プランジャーポンプ



マンホールポンプ
(プレロスタルマンホール
ポンプシステム)

2. 産機・建機関連事業の特徴

② 国内シェアNo.1を争う「スラリーポンプ」分野を構築

- ① スラリーポンプとして最も信頼性の高い「ワーマンポンプ」「ヒドロスタルポンプ」との総代理店契約
- ② そのほか多様なスラリーポンプの品揃えを実現（海外主力メーカーとの総販売代理店契約、ライセンス契約）
- ③ 専門性の高い多様な経験とノウハウを蓄積



ワーマンポンプ
(GSLシリーズ)



ヒドロスタルポンプ

2. 産機・建機関連事業の特徴

3 ワーマンポンプ

メンテナンス性に優れ、耐食・耐磨耗ポンプで業界トップクラス



材質の交換により
様々な液体に対応

化学・電力・製鉄など
あらゆる産業で活躍

■ 主な納入実績

T社／大分	約200台
S製鉄	約1,000台
T亜鉛／安中	約300台

2. 産機・建機関連事業の特徴

4

総合的な技術ソリューション提供力

スラリーポンプ分野における長年の経験とノウハウの蓄積

総合的な技術ソリューション能力を獲得

商品選定

独自改良

設置工事

メンテナンス

顧客満足 & 顧客困り込み → 業界トップクラスの実績を実現

2. 産機・建機関連事業の特徴

5 全国をカバーする技術サポート体制を構築

ラサ商事

本社・支店・営業所：10拠点

機械センター：5拠点



全国の
施工・メンテ専門の
協力会社

長年にわたる強固な信頼関係に基づく協力体制のもと
全国のお客様に対して確かな技術サポートを提供
(=当社の技術ソリューション提供力の基盤)

3. 環境設備関連事業の特徴

① 「水砕スラグ製造設備」のパイオニア

1967年に世界で初めて水砕スラグ製造設備のクローズド・システムを開発



● 製鉄所に必要不可欠な環境保全技術

【装置の概要】

銑鉄生産時に高炉から発生する副産物である熔融スラグを最適処理し、再利用を可能にする技術

● 生成されたスラグは、主にセメント業界で再利用

3. 環境設備関連事業の特徴

2

業界随一の豊富な経験と実績

●「ラサ・システム」を導入している製鉄所

世界



日本



4. 化成品関連事業の特徴

① 合成樹脂・化成品の専門商社

主な取扱品目

- プラスチック（合成樹脂、樹脂添加剤）
- シート・フィルム・テープ
（各種樹脂フィルム、金属箔、ほか）
- 各種加工製品（押出製品、射出製品、ほか）
- 油脂・ケミカル（ケミカル、その他化学品）

供給

自動車分野
建材分野
電気・電子分野
など

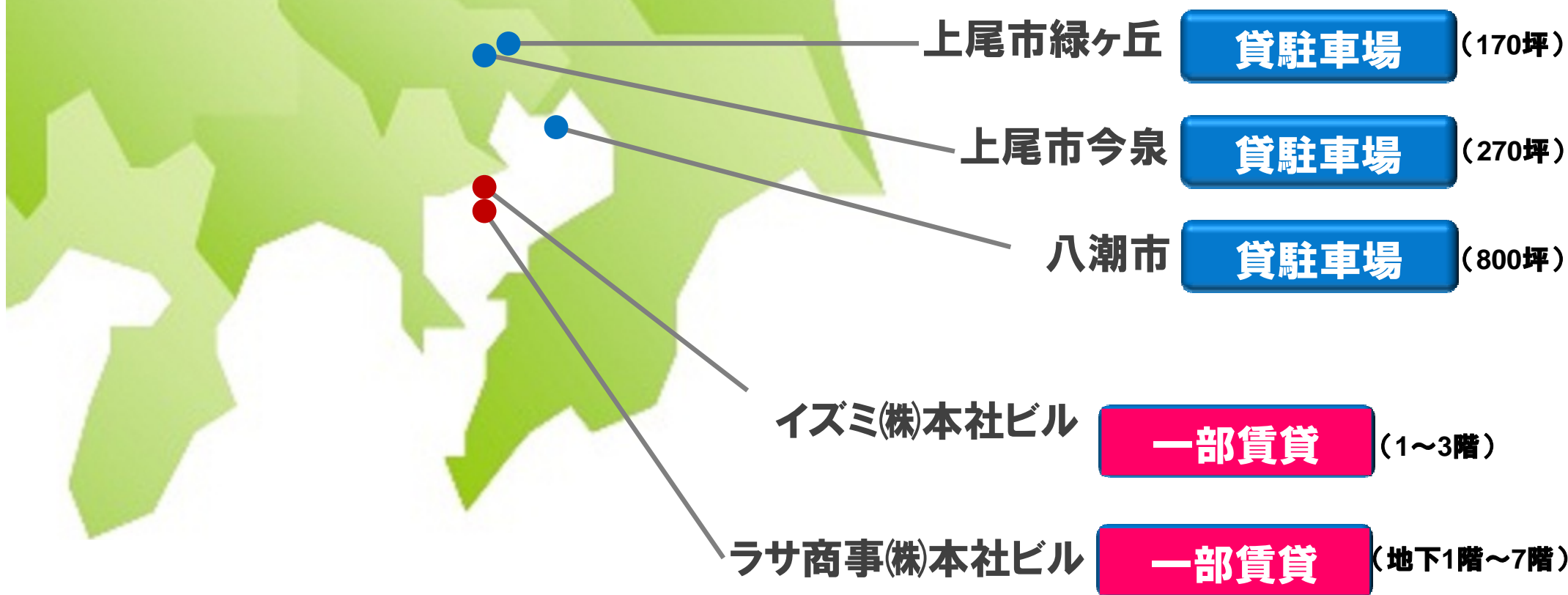
② メーカー機能を保有（様々な樹脂の混練加工）

- 飯能工場(埼玉県): ISO9001（品質マネジメントシステム）
KES（環境マネジメントシステム）

5. 不動産賃貸関連事業の特徴

賃貸不動産を運用する事業部門を設け、収益に貢献

【本社ビルと活用予定の賃貸不動産】





第4部：今後の戦略

今後の経営の方向性

【経営基本方針 ①】

今後のグループ経営

**効率的かつ戦略的な
グループ経営体制の
早期確立**

【経営基本方針 ②】

今後の事業戦略

**主力商品の安定成長
を基礎としながら、
第2・第3の柱を育成**

経営基本方針①

- 重複機能の一本化
- 2社のより深い交流
- 事務所統合も視野

【今期の位置づけ】

イズミ(株)を傘下に加えた
“新”ラサ商事グループの
経営本格化の初年度



今後のグループ経営

効率的かつ戦略的な
グループ経営体制の
早期確立

経営基本方針②

第2・第3の柱

●資源・金属素材関連

金属シリコン、輸入原料

●産機・建機関連

海外マーケットの拡大

●環境設備関連

IGCC向水砕スラグ製造設備

●化成品関連

注力分野の見きわめ

●不動産賃貸関連

保有不動産の有効活用

【現在の事業環境】

国内外の景気動向が
下ブレ懸念の拡大など
先行き不透明な状況



今後の事業戦略

主力商品の安定成長
を基礎としながら、
第2・第3の柱を育成

今後の事業戦略

次の柱の育成に向けた3つのキーワード

① 「素材」

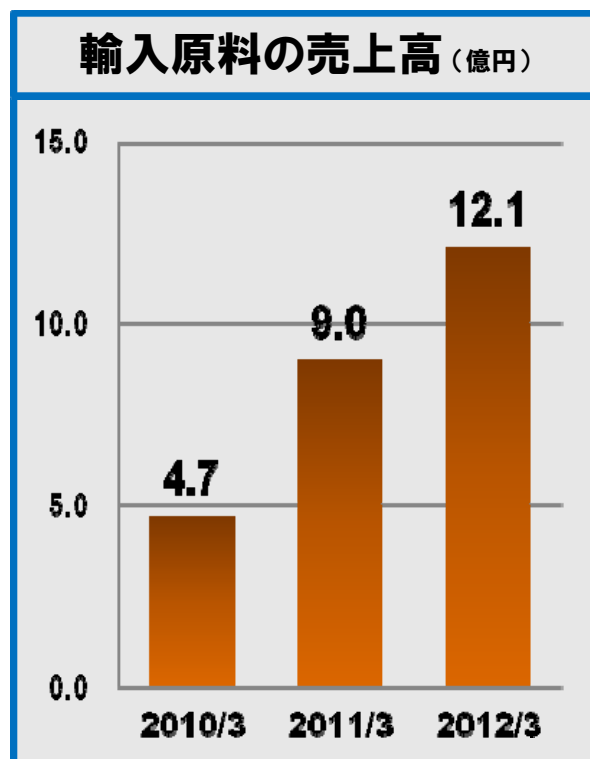
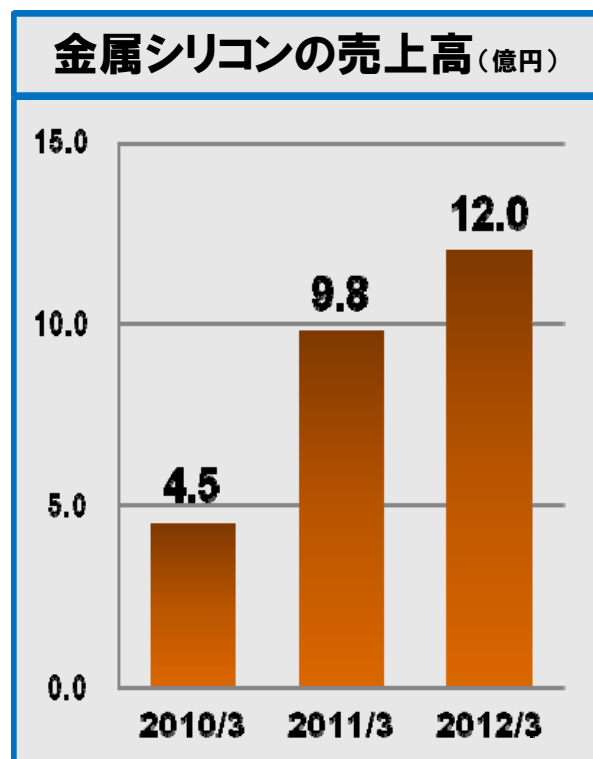
② 「技術」

③ 「環境」

今後の事業戦略 ①素材

①「素材」をキーワードとした成長戦略

資源・金属素材関連における「10億円商材育成プロジェクト」の展開により、「金属シリコン」と「輸入原料」が着実な成長軌道

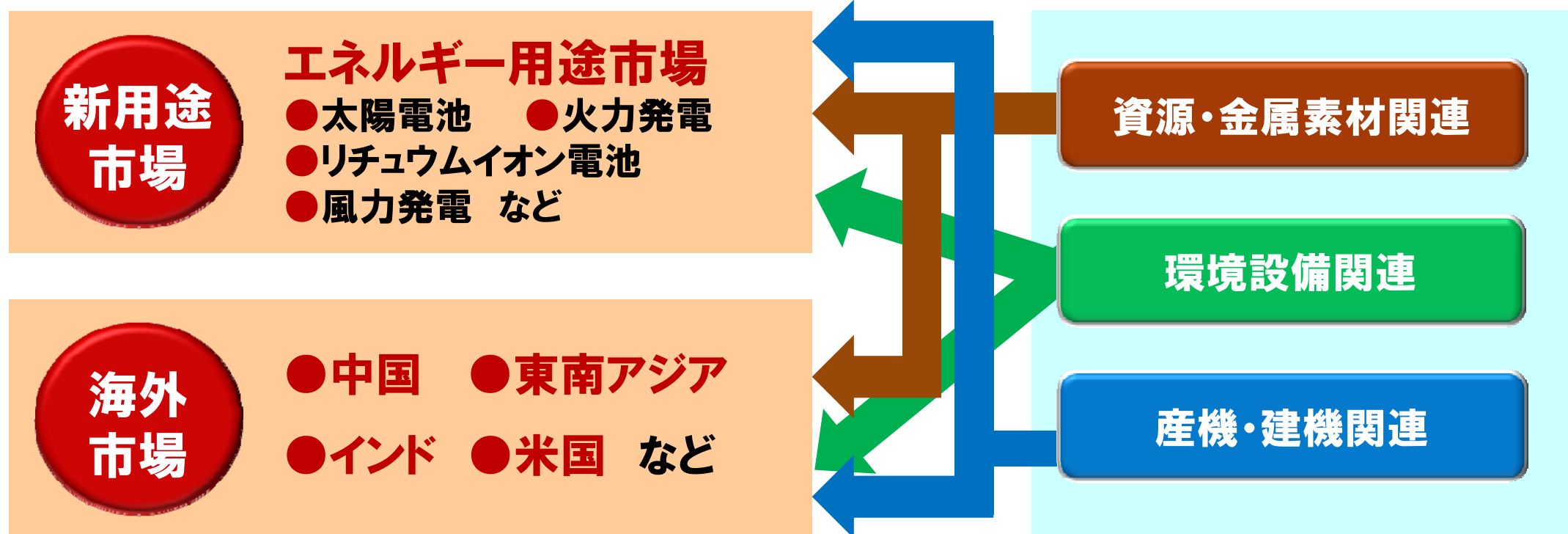


今後は、さらに、ラサ商事グループとして、当社とイズミ(株)の双方の商品を双方の顧客企業に販路を拡げるなど、シナジー効果を活用した成長戦略も推進

今後の事業戦略 ②技術

②「技術」をキーワードとした成長戦略

各事業のニッチな分野における“商社の枠組みを超えた技術・ノウハウ”を武器に、
新たな用途市場や海外市場に向けて拡販を推進



③「環境」をキーワードとした成長戦略

注目が集まるIGCC(石炭ガス化複合発電)

IGCCの特徴

- 従来の石炭火力発電より発電効率が高い
- CO2排出量が大幅に削減(ほぼ石油火力発電と同等)
- 用水使用量が大幅に低減
- 従来の石炭火力発電では利用が困難な灰融点の低い石炭に適合
- スラグの再利用が可能(従来の石炭火力発電では多量の石炭灰が発生)

このスラグの製造において
当社の「水砕スラグ製造設備」が活躍



* IGCC実証機プロジェクトは、福島県勿来において石炭処理量200t/日(2.5万kW相当)のパイロットプラント試験を行い、大きな成果→実証機を建設し、各種検証を行い、現在最終段階

・2013年4月から商用運転開始予定(25万KW)



第5部：業績見通し、配当、株主優待等

業績見通し

● 通期の業績見通しは当初予想に変更なし

(単位:百万円・%)

	(個別)	(連結)	(連結)	(連結)
	2012年 3月期実績	2013年3月 第2四半期実績	2013年 下期見直し	2013年 3月期予想
売上高	25,765	14,760	17,740	32,500
資源・金属素材関連	16,034	6,241	7,109	13,350
産機・建機関連	7,746	3,041	4,709	7,750
環境設備関連	1,964	670	1,180	1,850
化成品関連	—	4,738	4,682	9,420
不動産賃貸関連	20	67	63	130
売上総利益	4,774	1,991	2,759	4,750
販売費及び一般管理費	3,144	1,606	1,794	3,400
営業利益	1,630	385	965	1,350
経常利益	1,638	392	958	1,350
当期純利益	870	192	585	777
1株当り当期純利益(円)	77.65	16.99	51.48	68.47

配当

【当期第2四半期末実績】 7.5円（当初予想通り）

【当期末予想】 7.5円

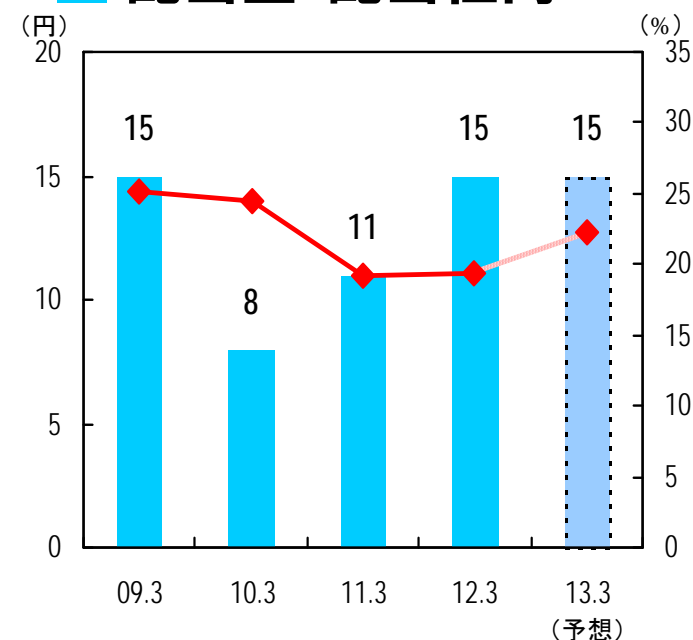
● 配当方針

- 安定配当を行なうこと
- 配当性向20%前後を維持すること

【前期実績】 19.3%

【当期予想】 21.9%

■ 配当金・配当性向



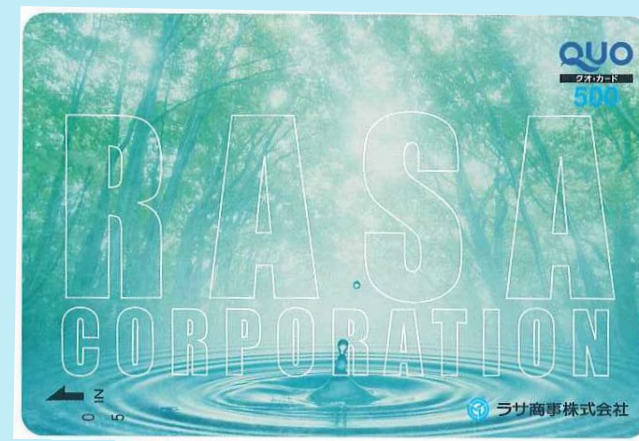
株主優待

対象株主

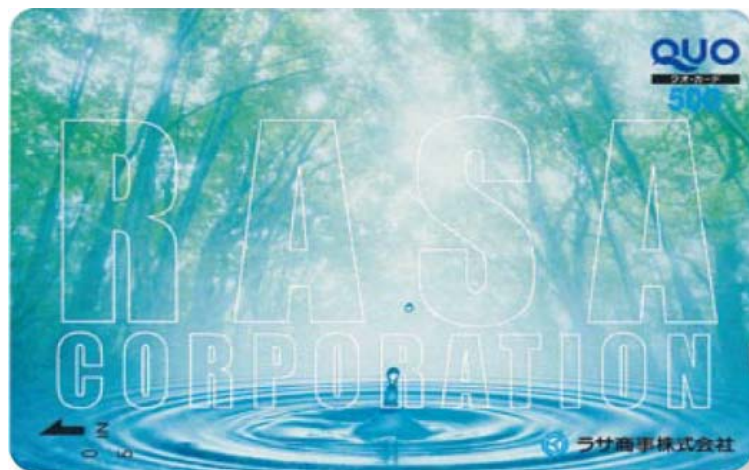
- 毎年3月31日現在の100株以上保有の株主

内 容

- 500円相当のオリジナルQUOカード
- 「公益財団法人 緑の地球防衛基金」への寄付
(株主様1人当たり 50円)
- 認定NPO法人「世界の子どもにワクチンを
日本委員会(JCV)」への寄付
(株主様1人当たり 60円)



株主優待制度の一部変更



より多くの株主様に当社株式を長い期間保有して
いただきたく、株主優待制度の内容を一部変更

対象株主様
(変更なし)

毎年3月31日を基準日として同日最終の株主名簿に記録
された1単位(100株)以上保有の株主様

株主優待制度
変更時期

2014年3月31日を基準日として同日最終の株主名簿に記録
された株主様から、変更後の優待内容を実施
*2013年3月31日については、現行のとおり

現 行

株式保有期間にかかわらず
すべての対象株主様共通

1. **500円相当**の当社オリジナルQUOカードの贈呈
2. 「公益財団法人緑の地球防衛基金」への寄付 (株主様1人あたり50円)
3. 認定NPO法人「世界の子どもにワクチンを日本委員会(JCV)」への寄付 (株主様1人あたり60円)

変更後

当社株式保有期間が
1年未満の株主様

1. **500円相当**の当社オリジナルQUOカードの贈呈
2. 「公益財団法人緑の地球防衛基金」への寄付 (株主様1人あたり50円)
3. 認定NPO法人「世界の子どもにワクチンを日本委員会(JCV)」への寄付 (株主様1人あたり60円)

当社株式保有期間が
1年以上継続保有の株主様

1. **1,000円相当**の当社オリジナルQUOカードの贈呈
2. 左記に同じ
3. 左記に同じ

*1年以上継続保有とは、3月31日を基準日として同日最終の株主名簿に同一株主番号で、1年以上記録されている状態。全株式を売却後、再度購入された場合や、貸株制度の利用等により、株主番号が変更になった場合は、継続保有とみなされません。

株価の推移

● 株価（2013年1月15日終値）

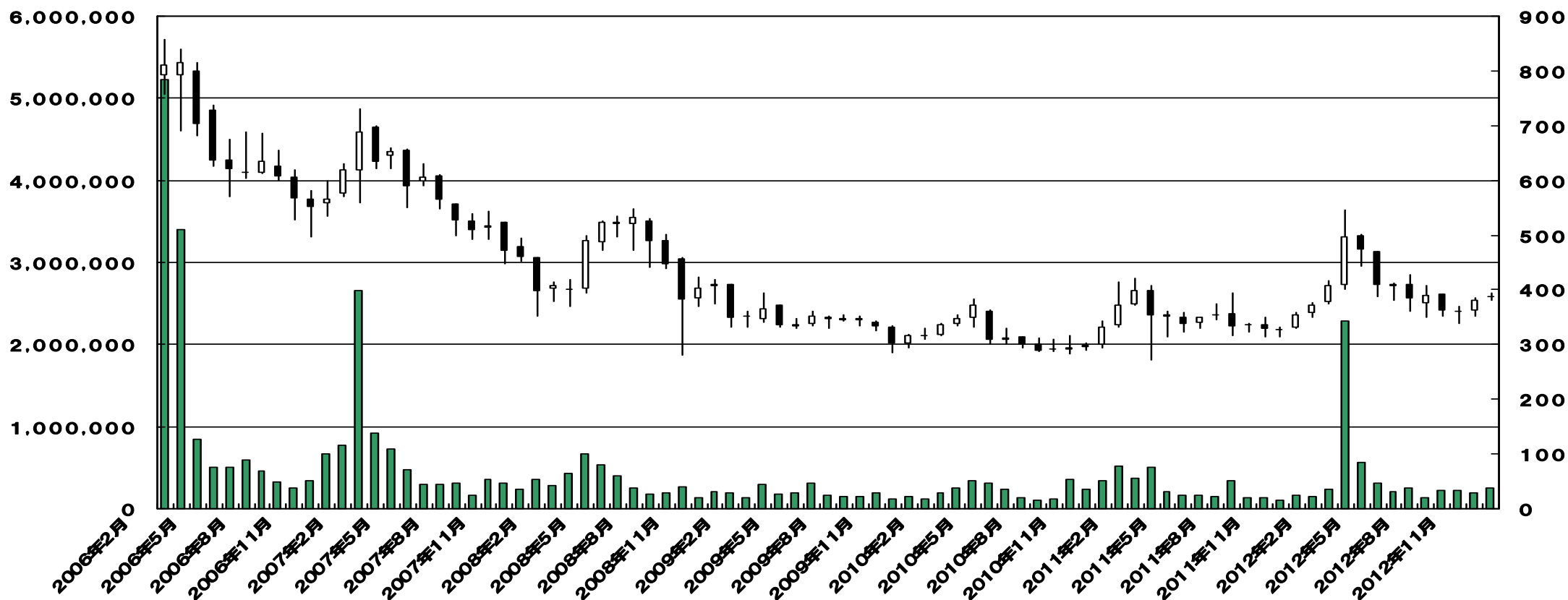
439円

予想配当利回り

3.42%

PBR (2012.9)

0.57倍



● 注意事項



本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因によって大きく異なる可能性があります。

● IRに関する問い合わせ先

ラサ商事株式会社 経営企画室

〒103-0014 東京都中央区日本橋蛸殻町一丁目11番5号 RASA日本橋ビルディング

TEL : 03-3668-8232

URL : <http://www.rasaco.co.jp/> *「お問い合わせ」をクリックしてください。



第6部：関連用語集

1. 資源・金属素材関連

用語	内容
ジルコンサンド	オーストラリア、南アフリカが2大生産地である天然鉱石。 「融点が高い」「比重が大きい」「硬い」などの特性を活用し、スマートフォンやタブレットPCのタッチパネルの素材、風力発電用の部品向けジルコン加工品の原料、半導体業界でのICチップの鏡面加工研磨材や、PDP(プラズマディスプレイパネル)の原料など産業界において幅広く使用されている。
金属シリコン	珪石(ケイ素《Si》と酸素《O ₂ 》が主原料)を電気炉で精錬し、酸化物を還元したもの。 自然エネルギーとしての太陽電池用シリコンウエハー原料、半導体シリコンウエハー原料、自動車用アルミ合金添加物などに使用されている。
ジルコニア	ジルコンサンドを電気炉で熔融し、酸化ジルコニウムを98%以上にした製品。 「融点が高い」「強度が大きい」「化学的に中性で安定している」などの特徴がある。 液晶やプラズマディスプレイガラスの熔融耐火材や、自動車や電車の車両のブレーキ材料、光学レンズ研磨材など幅広く使用されている。

2. 産機・建機関連

用語	内容
スラリーポンプ	固形物を含む液体の混濁液(スラリー液)を送るポンプ。
ワーマンポンプ	オーストラリアのワーマン社で開発されたポンプ。 液体の性状に合わせ接液部の材質をゴム、金属の組合せに変更できる高機能なポンプ。 磨耗性や腐食性のある液体や強酸・強アルカリスラリー液を送ることが出来る。 また磨耗した接液部を交換することで半永久的に使用することができるという特徴を持つ。 化学、排水処理、製鉄、非鉄金属、発電所、鉱業、精錬、製紙、窯業、食品、上下水道等多岐に渡る分野で使用されている。
ヒドロスタルポンプ	スイスのヒドロスタル社で開発されたポンプ。 もともとは水産業で魚を傷つけずにポンプ搬送することを目的に開発されたもので、 その特徴から壊れやすい固形物の非破壊流送や、長い繊維状のものを閉塞させることなく送液することができる。この特徴を生かして、下水処理場、し尿処理場を主として、 製紙(湿式不織布)、食品、化学等で幅広く使用されている。
シールド掘進機	地下鉄や下水道などのトンネルの掘削に使用される機械。 当社の建設機械における主力商品で、当社は下水管やケーブル管理設用の比較的 小さな口径の製品をインフラ整備用に納入している。

3. 環境設備関連

用語	内容
水砕スラグ製造設備	製鉄所の高炉の付帯設備。 製鉄業界では「ラサ・システム」として世界的に知られている。 鉄製造過程で発生する副産物の「熔融スラグ」を、セメント原料などとして再利用できるように高圧水で急冷・粒状化する設備で、製鉄所においては不可欠な設備となっている。
IGCC	石炭ガス化複合発電。 「 I ntegrated coal G asification C ombined C ycle」の略。 従来の石炭火力発電よりも発電効率が高く、石炭を燃料とする発電方式の中ではCO2の排出量が最も少ない発電方式。

4. 化成品関連

用語	内容
塩ビコンパウンド	<p>「ポリ塩化ビニルコンパウンド」の略。</p> <p>「ポリ塩化ビニル」は、ポリエチレン、ポリプロピレン、ポリスチレンとともに四大プラスチックの一つ。</p> <p>「コンパウンド」は、英語の「compound」で、「混ぜ合わせる」の意。</p> <p>自動車の内外装部品、建材、電線のシース材などに幅広く使用されており、イズミ(株)の主力商品の一つである。</p>
KES	<p>「環境マネジメントシステム」の規格。</p> <p>「Kyoto Environmental Management System Standard」の略。</p> <p>環境マネジメントシステムとしては、ISO14001が最も有名であるが、これと同様にKESは「グリーン調達」として、取得企業に対する優遇制度がある規格である。</p> <p>イズミ(株)は2009年5月にこの規格を取得した。</p>